

# 南海トラフ巨大地震に関する 地震・津波ハザード

(H24.8.29の国の公表資料等から作成)

大阪府危機管理室

# 目 次

地震・津波ハザードの検討	2
1) 検討項目、ケースおよび条件	2
2) 地震動 国公表ケース	3
3) 大阪府域における震度分布	4
4) 津波 国公表ケース	8
5) 最大津波高（大阪府、市区町別）	9
6) 最大津波高発現ケース（大阪府、市町別）	10
7) 浸水面積（大阪府）	17

### 検討項目

- ρ 津波高（満潮位の時の高さ）  
⇒各市町村の最大値、および全体を概観できるように平均値でも整理
- ρ 津波到達時間  
⇒ 1m、3m、5m、10m、20mの津波高を到達時間ごとに整理
- ρ 浸水域
- ρ 震度分布

### 検討ケースおよび条件

#### 【外力ケース】

- ρ 地震動：5ケース  
⇒強振動生成域：4ケース、経験的手法：1ケース
- ρ 津波高：11ケース  
⇒基本的な検討ケース（大すべり域及び超大すべり域が1ヶ所）：5ケース  
⇒その他派生的な検討ケース：6ケース

#### 【その他条件】

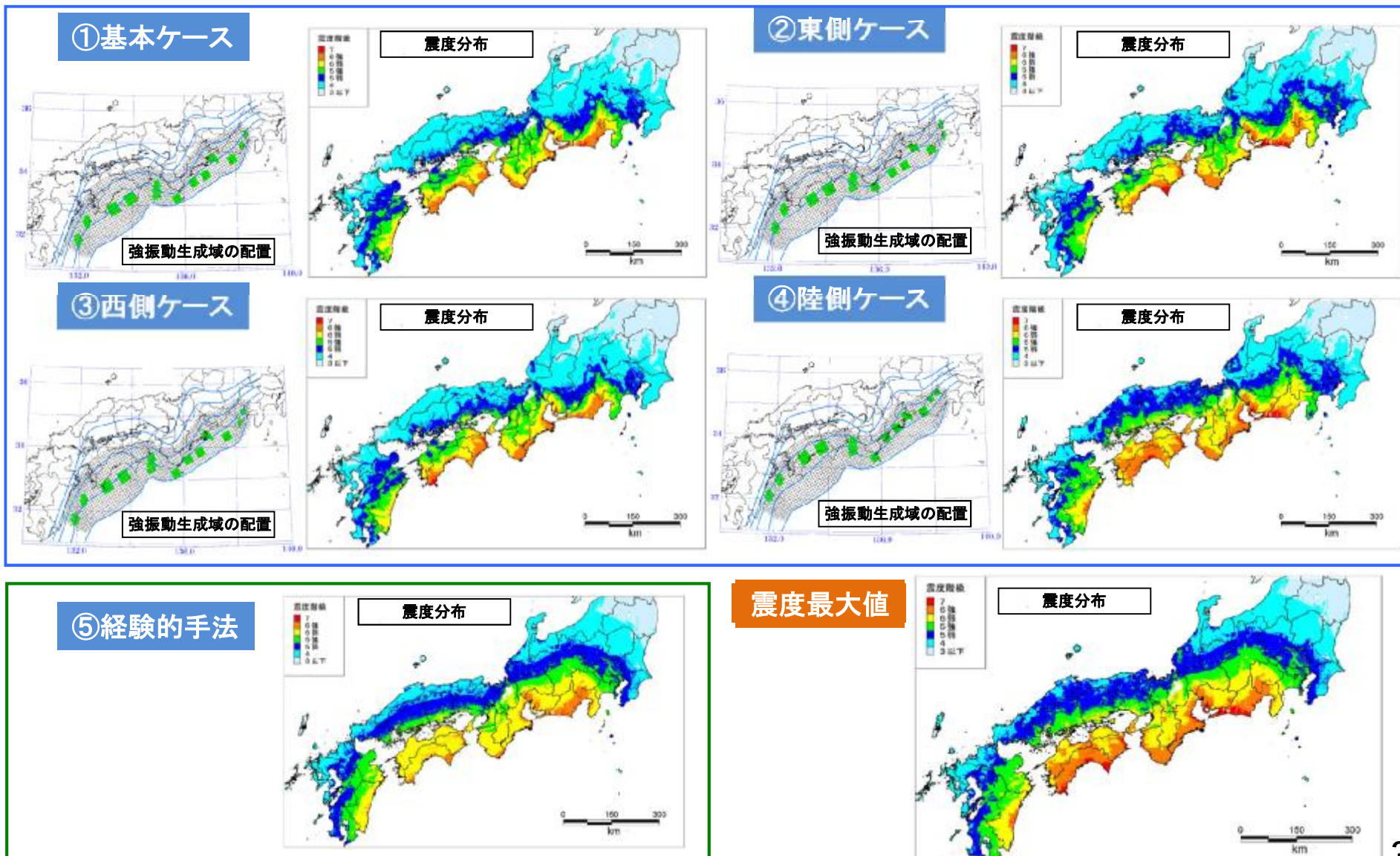
- ρ 地殻変動による陸域の沈降を考慮
- ρ 堤防は、津波が越えた時点で機能しなくなる(破堤、堤防なし)条件
- ρ 液状化に伴う堤防の沈下は未考慮

## 2) 地震動 国公表ケース

### ◆地震動:5ケース

□: 強振動生成域4ケース

□: 経験的手法1ケース



### 3) 大阪府域における震度分布

#### ◆大阪府域における震度分布

市区町村名		基本ケース	陸側ケース	東側ケース	西側ケース	経験的手法	最大値(H24.8.29)	中央防災会議(2003)
大 阪 市	都島区	6弱	6強	6弱	6弱	6弱	6強	5強
	福島区	6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	5強
	此花区	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
	西区	6弱	6強	6弱	6弱	6弱	6強	6弱
	港区	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
	大正区	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
	天王寺区	6弱	6弱	5強	5強	6弱	6弱	5強
	浪速区	6弱	6弱	5強	5強	6弱	6弱	5強
	西淀川区	5強	6弱	5強	5強	6弱	6弱	5強
	東淀川区	6弱	6強	6弱	6弱	6弱	6強	5強
	東成区	6弱	6強	6弱	6弱	6弱	6強	6弱
	生野区	6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	5強
	旭区	6弱	6強	5強	6弱	6弱	6強	5強
	城東区	6弱	6強	6弱	6弱	6弱	6強	6弱
	阿倍野区	6弱	6弱	5強	5強	6弱	6弱	5強
	住吉区	5強	6弱	5強	5強	6弱	6弱	6弱
	東住吉区	6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	6弱
	西成区	6弱	6弱	5強	5強	6弱	6弱	5強
	淀川区	5強	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	5強
	鶴見区	6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	5強
住之江区	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	
平野区	6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	5強	
北区	6弱	6強	6弱	6弱	6弱	6強	6弱	
中央区	6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	5強	

### 3) 大阪府域における震度分布

#### ◆大阪府域における震度分布

市区町村名		基本ケース	陸側ケース	東側ケース	西側ケース	経験的手法	最大値(H24.8.29)	中央防災会議(2003)
堺市	堺区	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
	中区	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	5強
	東区	6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	5強
	西区	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
	南区	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
	北区	5強	6弱	5強	5強	6弱	6弱	6弱
	美原区	6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	6弱
岸和田市		6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
豊中市		6弱	6強	5強	6弱	6弱	6強	5強
池田市		6弱	6弱	5強	5強	5強	6弱	5強
吹田市		6弱	6強	6弱	6弱	6弱	6強	5強
泉大津市		6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
高槻市		6弱	6強	5強	6弱	6弱	6強	5強
貝塚市		6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
守口市		6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	6弱
枚方市		6弱	6強	5強	6弱	6弱	6強	5強
茨木市		6弱	6強	5強	6弱	6弱	6強	6弱
八尾市		6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	5強
泉佐野市		6弱	6強	6強	6弱	6弱	6強	6弱
富田林市		6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
寝屋川市		6弱	6強	5強	6弱	6弱	6強	6弱
河内長野市		6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
松原市		6弱	6弱	5強	5強	6弱	6弱	6弱
大東市		6弱	6強	5強	6弱	6弱	6強	6弱
和泉市		6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱

### 3) 大阪府域における震度分布

#### ◆大阪府域における震度分布

市区町村名	基本ケース	陸側ケース	東側ケース	西側ケース	経験的手法	最大値(H24.8.29)	中央防災会議(2003)
箕面市	5強	6弱	5強	5強	5強	6弱	5強
柏原市	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
羽曳野市	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
門真市	6弱	6強	5強	6弱	6弱	6強	6弱
摂津市	6弱	6強	6弱	6弱	6弱	6強	6弱
高石市	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
藤井寺市	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
東大阪市	6弱	6強	5強	6弱	6弱	6強	6弱
泉南市	6弱	6強	6強	6弱	6弱	6強	6弱
四條畷市	6弱	6弱	5強	6弱	6弱	6弱	5強
交野市	5強	6弱	5強	5強	6弱	6弱	5強
大阪狭山市	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
阪南市	6弱	6強	6弱	6弱	6弱	6強	6弱
島本町	6弱	6強	5強	5強	6弱	6強	5強
豊能町	5強	6弱	5強	5強	5強	6弱	5強
能勢町	5強	5強	5弱	5弱	5強	5強	6弱
忠岡町	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
熊取町	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
田尻町	6弱	6強	6強	6弱	6弱	6強	5強
岬町	6強	6強	6強	6弱	6弱	6強	6弱
太子町	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	5強
河南町	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱
千早赤阪村	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱	6弱

### 3) 大阪府域における震度分布 ～府域で計測震度（計算値）が最大となるケース～

◆内閣府より公表された計測震度（計算値）について、250mメッシュごとに比較。

◆基本的には『陸側ケース』で最大計測震度が発生するが、泉佐野市（一部）、田尻町、泉南市（一部）においては、『東側ケース』で最大計測震度が発生する。  
【右図ピンク色の範囲】

（ただし、市町単位の最大震度は『陸側ケース』『東側ケース』のいずれも『6強』で、これまでと変更はない）

凡例  
MAX  
Eq2 : 陸側ケース  
Eq3 : 東側ケース



#### 《参考》計測震度と震度階級

震度階級	計測震度	震度階級	計測震度
0	0.5未満	5弱	4.5以上5.0未満
1	0.5以上1.5未満	5強	5.0以上5.5未満
2	1.5以上2.5未満	6弱	5.5以上6.0未満
3	2.5以上3.5未満	6強	6.0以上6.5未満
4	3.5以上4.5未満	7	6.5以上

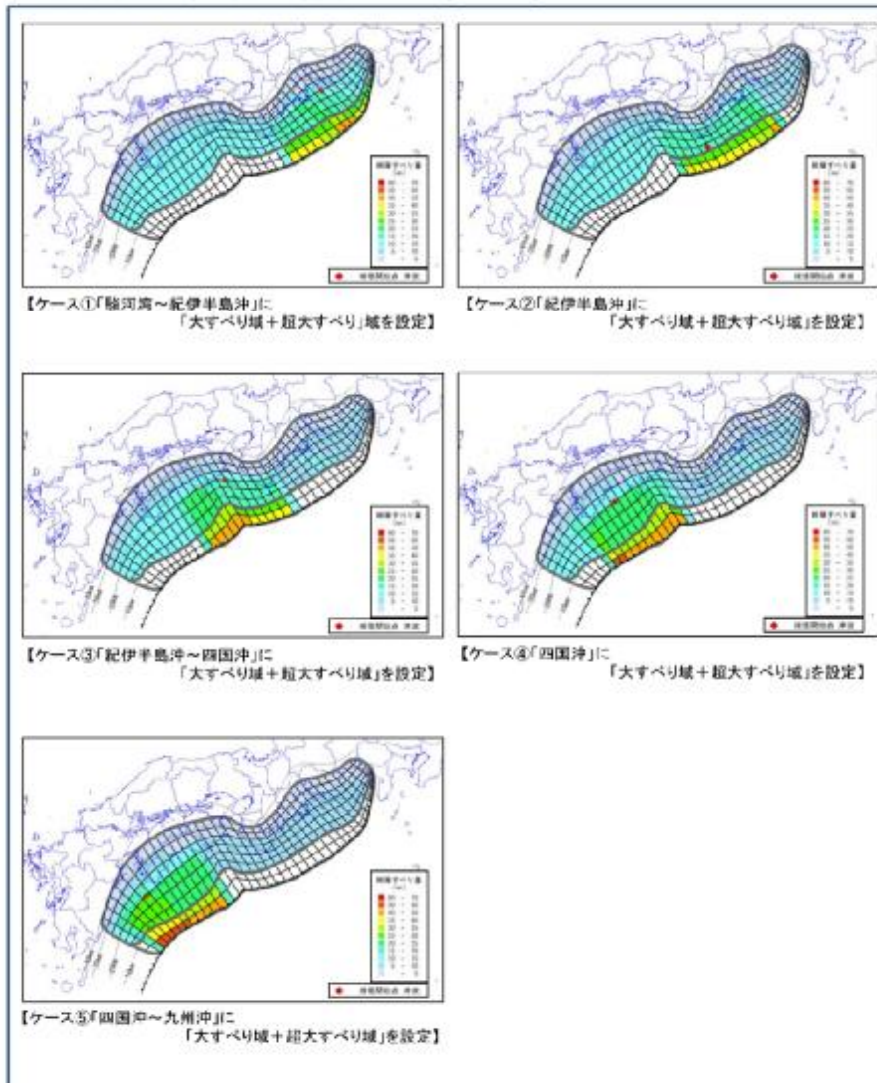


## 4) 津波高 国公表ケース

### ◆津波高: 11ケース

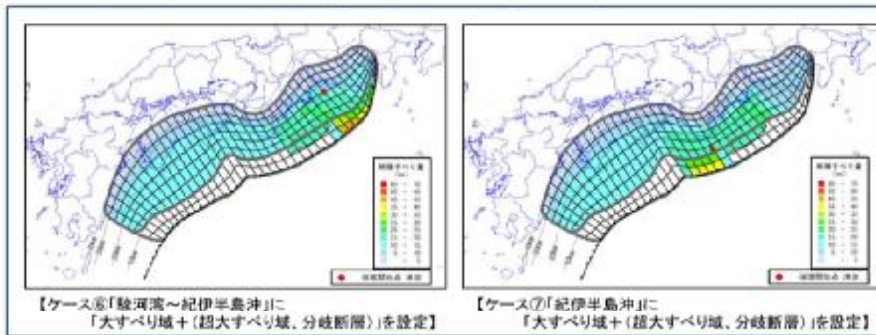
#### 【基本的な検討ケース】(計5ケース)

大すべり域、超大すべり域が1箇所のパターン【5ケース】

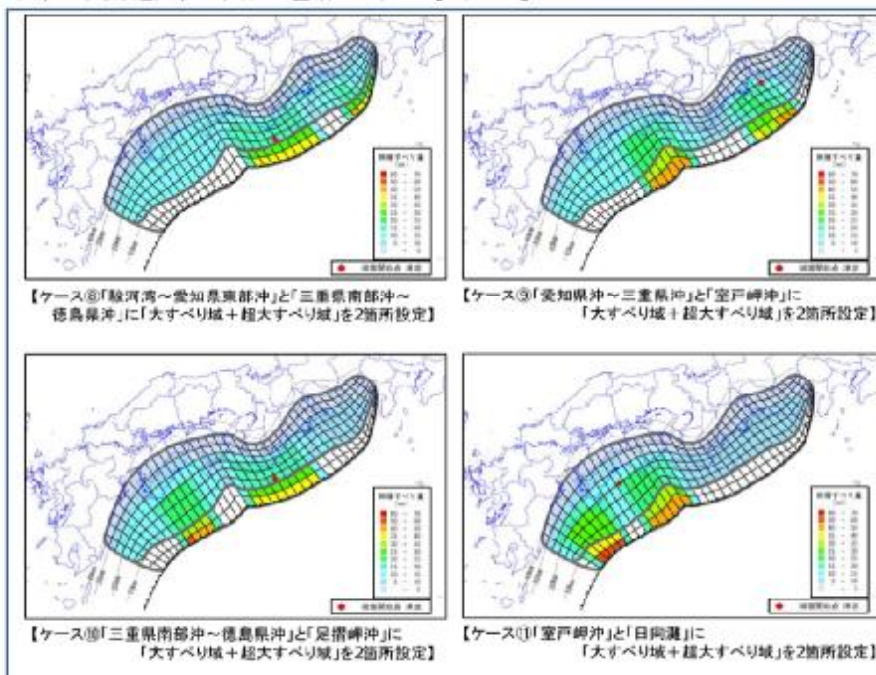


#### 【その他派生的な検討ケース】(計6ケース)

大すべり域、超大すべり域に分岐断層も考えるパターン【2ケース】



大すべり域、超大すべり域が2箇所のパターン【4ケース】



## 5) 最大津波高（大阪府、市区町別）

### ◆最大津波高（満潮位・地殻変動考慮）

（単位：m）

都道府県名	ケース										
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
大阪府	4	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5

### ◆市区町別 最大津波高（満潮位・地殻変動考慮）

（単位：m）

市区町村名	ケース											最大値	中央防災
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		(2003)
大阪市此花区	3	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	3
大阪市港区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3
大阪市大正区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3
大阪市西淀川区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3
大阪市住之江区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	5	3
堺市堺区	4	4	5	5	5	4	4	4	5	5	5	5	3
堺市西区	4	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	4
岸和田市	3	4	5	5	5	3	4	4	4	4	4	5	3
泉大津市	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4
貝塚市	3	3	4	4	4	3	3	3	3	4	4	4	3
泉佐野市	3	3	4	4	4	3	3	3	3	4	3	4	3
高石市	4	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	4
泉南市	3	3	3	4	3	3	3	3	3	4	3	4	3
阪南市	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3
泉北郡忠岡町	3	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	3
泉南郡田尻町	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3	4	3
泉南郡岬町	3	3	4	4	3	3	3	3	4	4	4	4	3

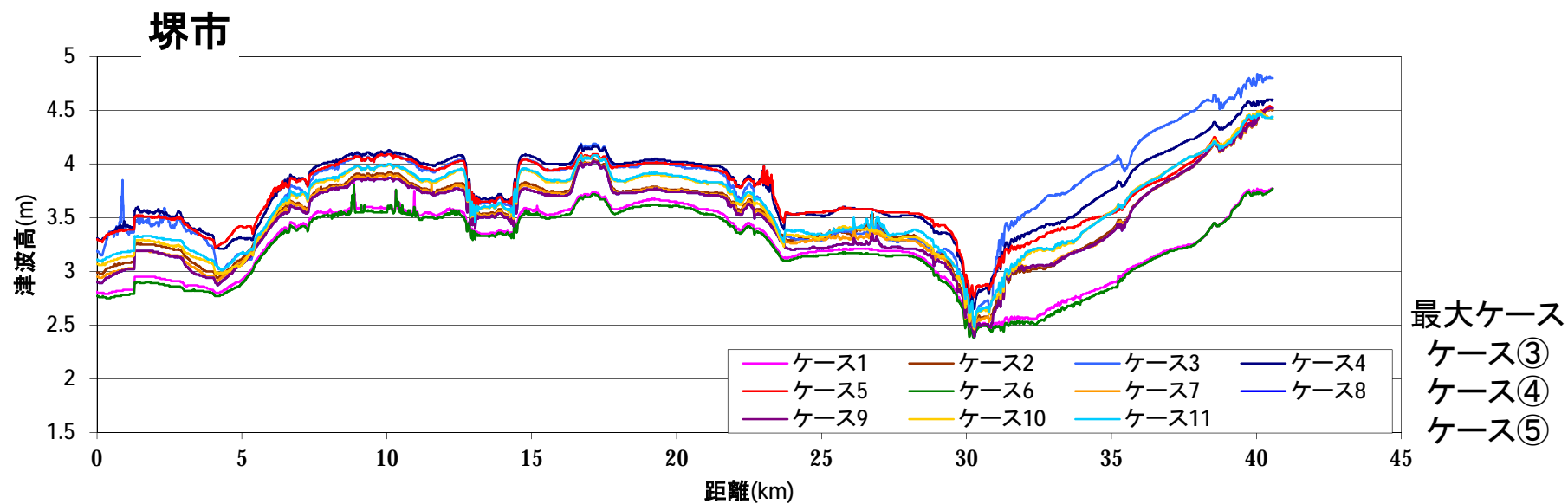
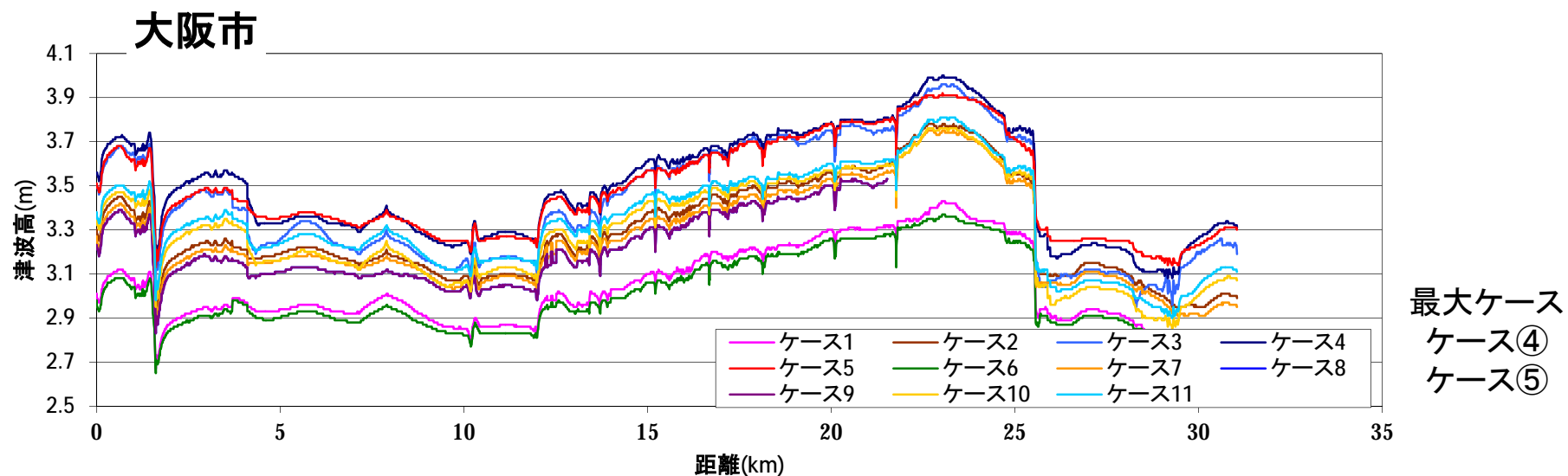
## 6) 最大津波高発現ケース（大阪府、市町別）

### ◆市町別 最大津波高（満潮位・地殻変動考慮）

国から提供された津波高データについて、沿岸部のメッシュごとに最大津波高になるケースを抽出し、下表のとおり市町別に整理した

市区町村名	ケース											備考
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	
大阪市				○	○					※		※内閣府の公表で津波高最大値がある
堺市			○	○	○							
岸和田市			○	○	○							
泉大津市			○	○	○							
貝塚市			○	○	○							
泉佐野市			○	○	○							
高石市			○									
泉南市			○	○								
阪南市			○	○								
泉北郡忠岡町			○		○							
泉南郡田尻町				○								
泉南郡岬町		○	○	○	○							

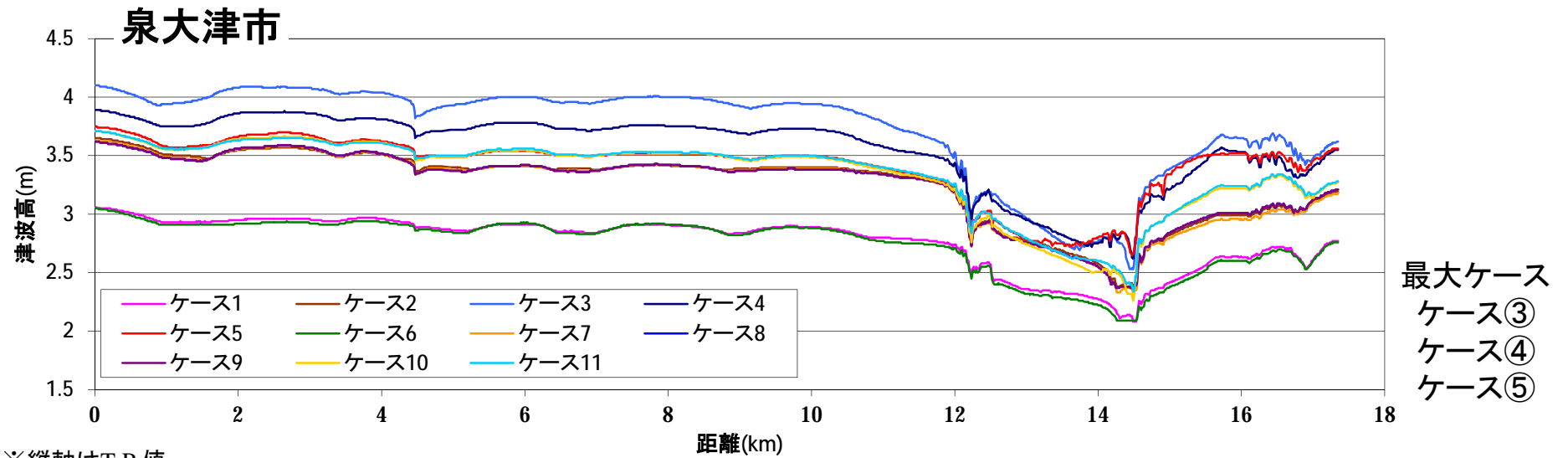
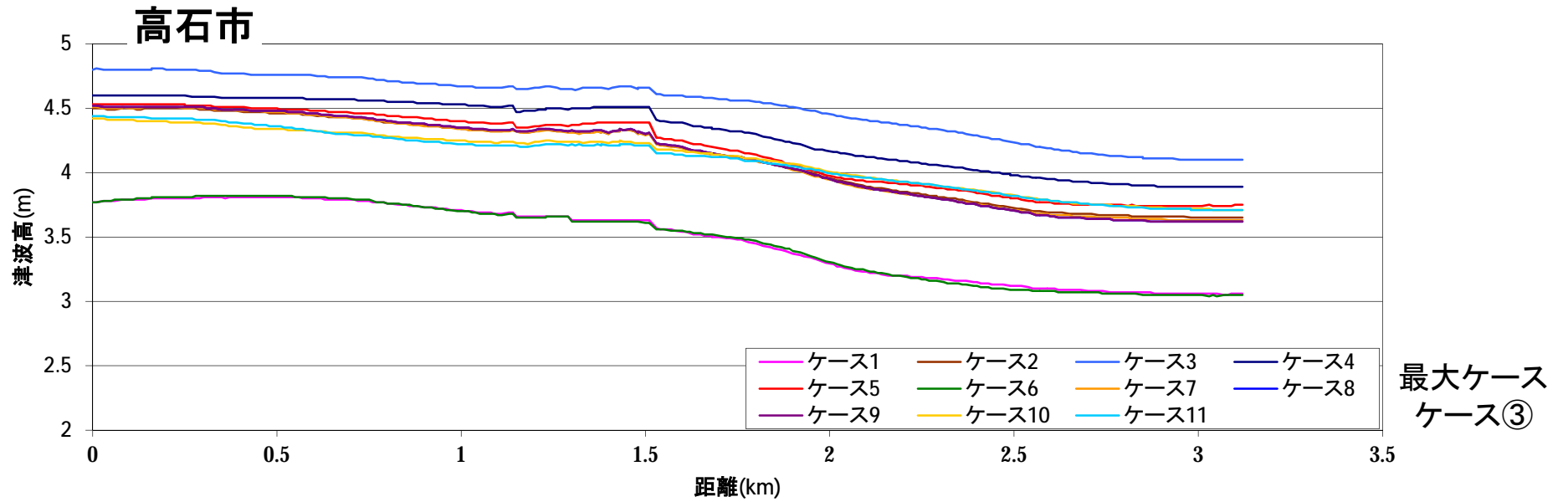
## 6) 最大津波高発現ケース（大阪府、市町別）



※縦軸はT.P.値

※横軸は沿岸部の延長(各市町境界北側から)

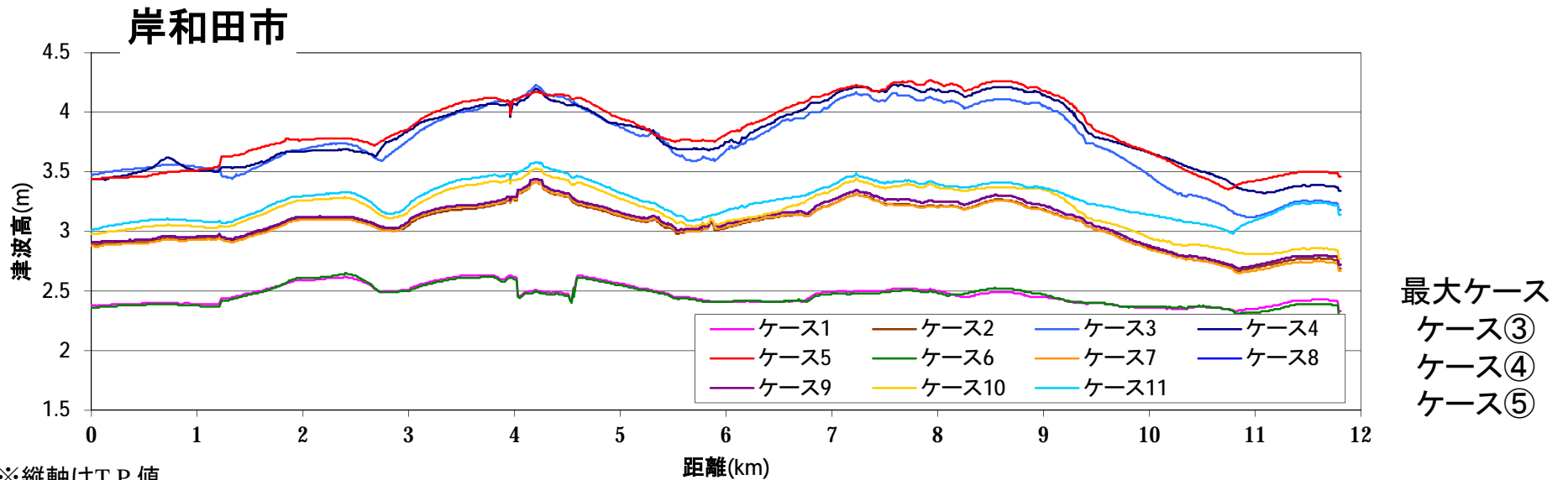
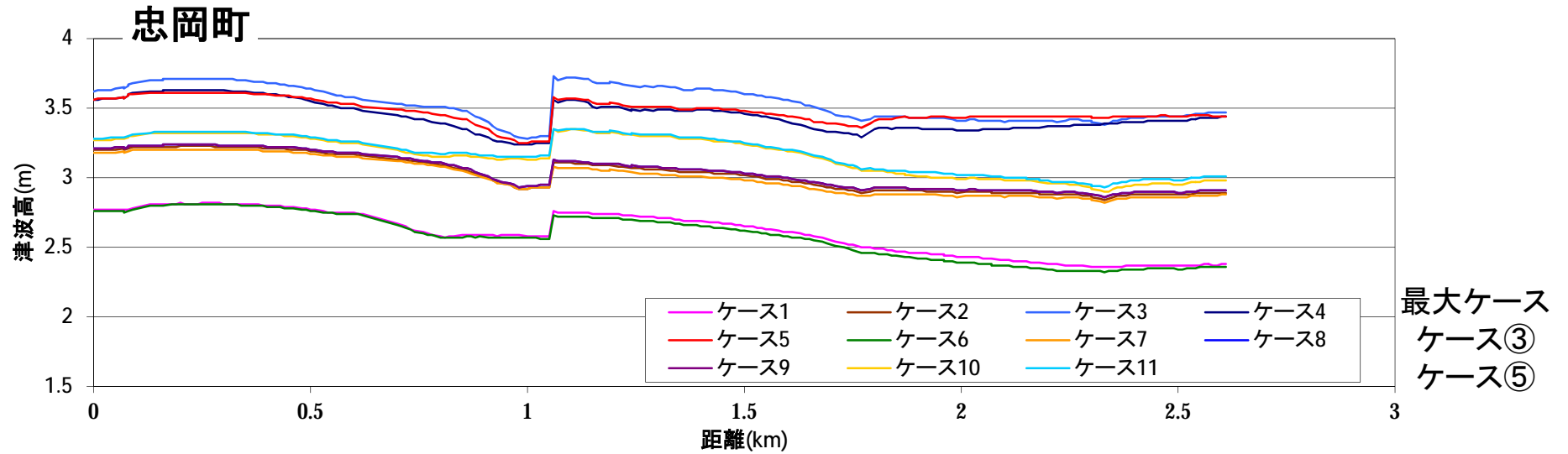
## 6) 最大津波高発現ケース（大阪府、市町別）



※縦軸はT.P.値

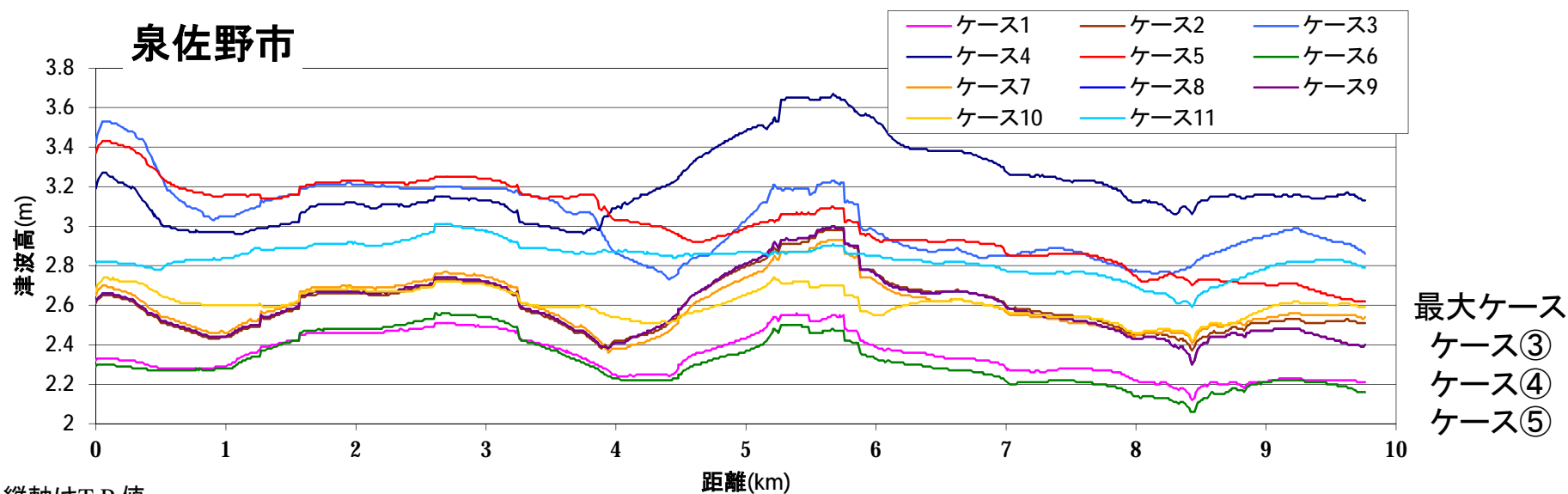
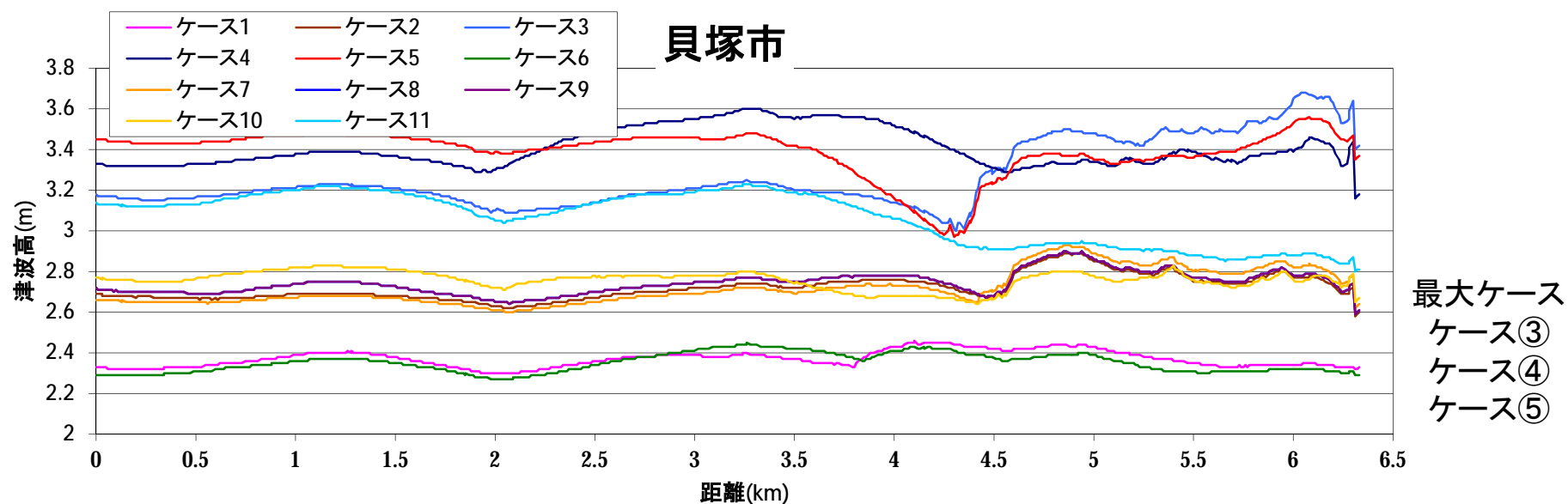
※横軸は沿岸部の延長(各市町境界北側から)

## 6) 最大津波高発現ケース（大阪府、市町別）



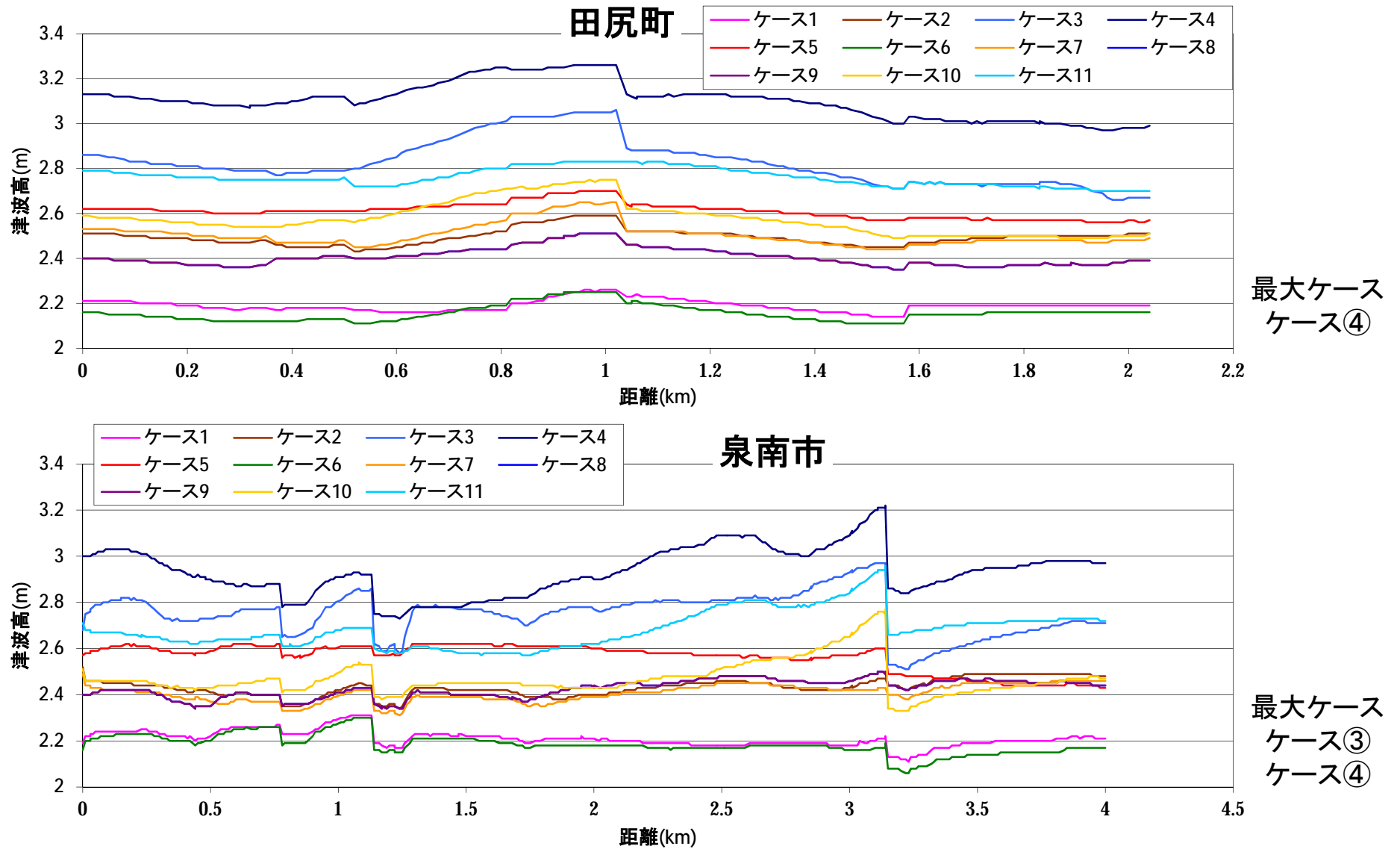
※縦軸はT.P.値  
※横軸は沿岸部の延長(各市町境界北側から)

## 6) 最大津波高発現ケース（大阪府、市町別）



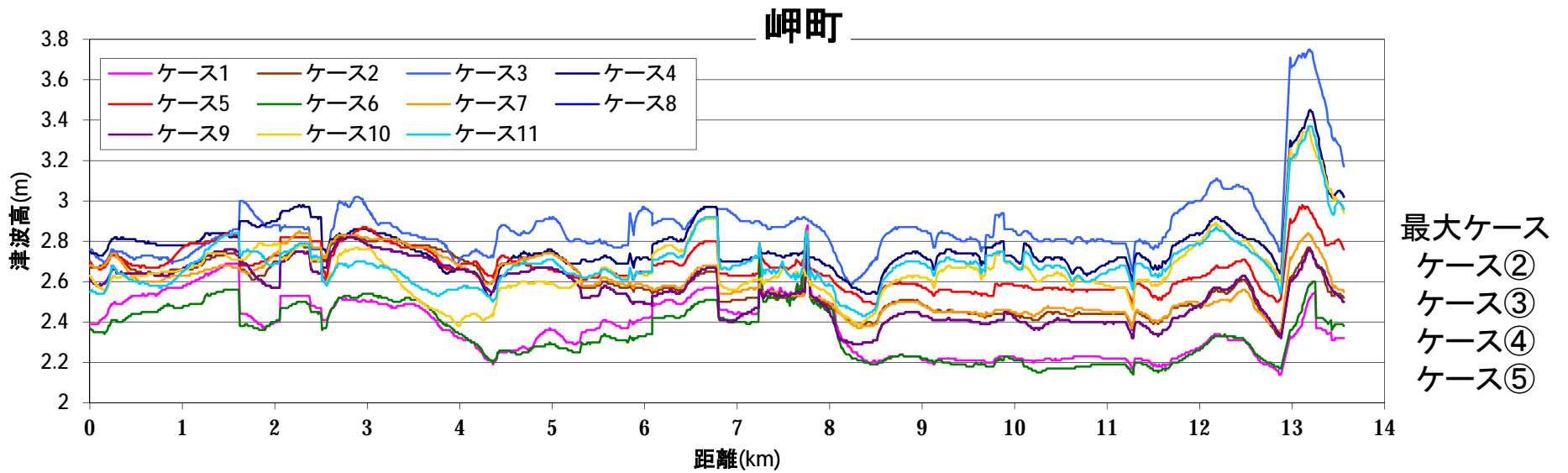
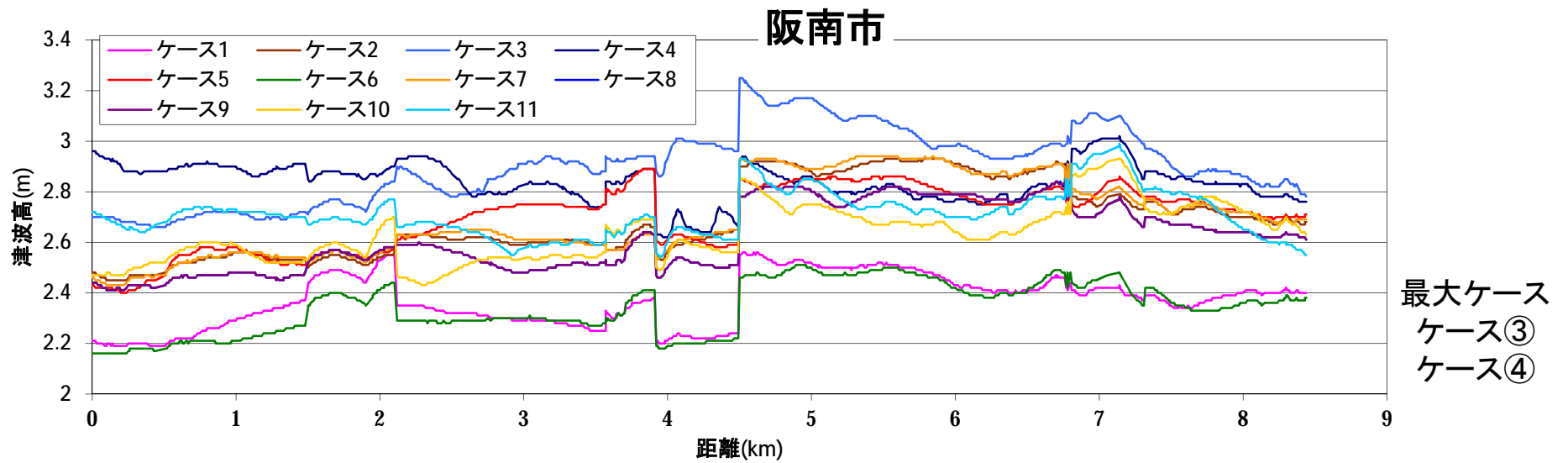
※縦軸はT.P.値  
 ※横軸は沿岸部の延長(各市町境界北側から)

## 6) 最大津波高発現ケース（大阪府、市町別）





## 6) 最大津波高発現ケース (大阪府、市町別)



※縦軸はT.P.値  
 ※横軸は沿岸部の延長(各市町境界北側から)

## 7) 浸水面積 (大阪府)

### ◆ 浸水面積

(単位: ha)

都道府県名	浸水面積					
	浸水深 1cm以上	浸水深 30cm以	浸水深 1m以上	浸水深 2m以上	浸水深 5m以上	浸水深 10m以上
ケース①	1,080	640	200	50	*	-
ケース②	2,010	1,280	380	90	*	-
ケース③	3,020	2,240	810	200	*	-
ケース④	3,050	2,150	720	200	*	-
ケース⑤	2,720	1,820	630	190	*	-
ケース⑥	1,040	600	200	50	*	-
ケース⑦	1,980	1,250	370	90	*	-
ケース⑧	1,960	1,240	360	90	*	-
ケース⑨	2,160	1,400	420	100	*	-
ケース⑩	3,000	2,150	710	190	*	-
ケース⑪	2,300	1,500	470	110	*	-

出典 : 都道府県別市町村別浸水面積一覧表 平成24年8月29日

\* : 10ha未満

## 7) 浸水面積（大阪府）

### ◆浸水面積（浸水深1cm以上、市区町別）

（単位：ha）

市区町村名	ケース										
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
大阪市此花区	20	20	20	30	30	20	20	20	20	30	30
大阪市港区	20	20	20	20	20	20	20	20	20	30	20
大阪市西淀川区		10	10	20	20		10	10	10	20	10
大阪市城東区			30								
大阪市西成区	30	30	30	40	40	30	30	30	30	40	30
大阪市淀川区	50	50	60	90	100	50	50	50	50	80	70
大阪市住之江区	30	40	50	50	50	30	40	40	40	50	40
堺市堺区	320	420	530	540	520	300	410	400	440	570	460
堺市西区	90	330	620	580	470	80	320	310	370	620	380
岸和田市	140	200	310	360	330	140	200	200	220	290	240
豊中市				20	20					10	10
泉大津市	150	320	460	440	400	140	320	320	340	450	360
貝塚市	20	30	70	80	80	20	30	40	40	70	70
泉佐野市	20	30	60	70	70	20	30	30	30	50	40
高石市	20	290	510	450	360	20	280	280	320	470	320
泉南市	30	40	50	50	50	30	40	40	40	50	50
阪南市	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
泉北郡忠岡町	40	60	60	60	60	40	60	60	60	60	60
泉南郡田尻町		10	20	20	10		10	10	10	20	20
泉南郡岬町	50	60	70	70	60	40	60	60	60	70	70

出典：都道府県別市町村別浸水面積一覧表 平成24年8月29日

10ha未満の浸水は未記載